

第2回 記念館フォーラム

— わだつみのこえにこたえて —

映画と講演

◆ ドキュメンタリー映画：

チョウ ムンサンの遺書 ～ シンガポール・BC級戦犯裁判 ～

(制作：桜井 均・木邨猪一郎／NHKスペシャル「アジアと太平洋戦争」 1991年8月15日放映)

◆ 講演：桜井 均 氏

遺書を通して考えるBC級戦犯問題 — 韓国・朝鮮人



ドキュメンタリー制作ノート：敗戦後、アジア各地のBC級戦犯で罪を問われ、重い刑に処せられた植民地出身の青年たちがいた。タイ・ミャンマー間をつなぐ泰緬鉄道の建設に、イギリス・オーストラリアの捕虜を駆り出し、多くの犠牲者を出した。捕虜収容所の監視員として雇われた朝鮮人青年の一人に趙文相(チョウ・ムンサン)がいた。(中略)死刑判決を受けた彼が死の直前まで書き続けた遺書をもとに、ジャングルの奥地で何があったのか、彼らの犯した罪に日本国家は責任がないのかを問うた。(桜井均著『テレビは戦争をどう描いてきたか』より)

講師紹介：元NHKエグゼクティブ・プロデューサー。立正大学教授、市民メディア「映像ドキュメント.com」代表。NHK時代に手がけた主なドキュメンタリー番組は、『米ソ艦艇謎のUターン』(1982年・芸術祭賞)、『チョウ・ムンサンの遺書』(1991年・放送文化基金賞)、『東京裁判への道』1992年・放送文化基金大賞、『埋もれたエイズ報告』(1994年・日本ジャーナリスト会議大賞)、『イスラム潮流 4回』(99年～2000年)、『加藤周一・歴史としての20世紀を語る 4回』(2000年)、『ZONE～核と人間の100年』(2005年)など多数。

著書に『埋もれたエイズ報告』(三省堂 1997年)、『テレビの自画像』(筑摩書房 2001年)、『テレビは戦争をどう描いてきたか—映像と記憶のアーカイブス』(岩波書店 2005年)、『ムシュー・カトーからの手紙』(青土社 2009年)など。

◆ 6月25日(土) 午後2時～5時 (開場 1時30分)

◆ 文京区民センター 2-A会議室(文京区本郷4-15-14)

◆ 資料代：500円 (申込み不要)

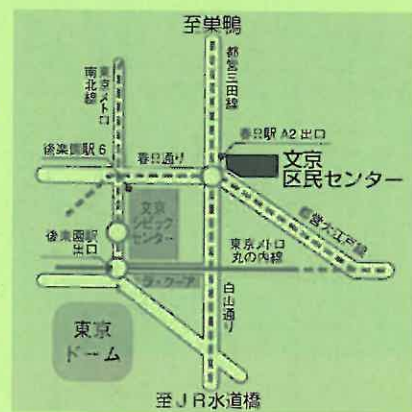
わだつみのこえ記念館

〒113-0033 東京都文京区本郷5-29-13 赤門アビタシオン1階

電話・FAX 03-3815-8571

E-mail : info@wadatuminokoe.org

URL : http://www.wadatuminokoe.org/



都営地下鉄「春日駅」、東京メトロ「後楽園駅」下車

わだつみのこえ記念館は、日本戦没学生の手記『さけ わだつみのこえ』(第一集・第二集)に収録された戦没学生の日記・手紙など遺稿の原資料のほか、アジア・太平洋戦争の戦争犠牲者に関する資料を広く収集し展示しています。展示資料のなかに、チョウ・ムンサンの遺書について報じた『週刊朝鮮』110号(1970年11月29日)のほか、元朝鮮人学徒兵の資料もあります。

開館日・時間：月・水・金曜、午後1時～4時(夏季・冬季休館あり) / 入館料：ありません(カンパは感謝します!)
/ 館内の写真撮影：できません。 / 車椅子用のエレベーターがご利用になれます。 / 団体で入館ご希望の場合は參觀曜日・時間を事前にご相談ください。 / ご連絡は、電話(留守録付き)または電子メールでもどうぞ。